

こどものインターネット利用 ～利活用に向けて～

学校における取組

東京都江戸川区立一之江小学校
校長 伊藤 秀一

一之江小における取組

- ・教師の意識化
- ・児童の意識化
- ・家庭との連携
- ・外部との連携
- ・時代に即した授業の工夫
- ・確認と修正

教師の意識化

管理職がビジョンを示す

一之江小 学び方スタンダード

家庭学習 学年ごとに時間を決めて 家庭学習に取り組みます	返事 名前を呼ばれたら「はい！」と 返事をします	聴き方 話している人を見て、最後まで 静かに話を聴きます	話し方 声の大きさを考えて、ていねいな 言葉づかいで話します	姿勢 背筋を伸ばした姿勢で座ります	挨拶 授業の始めと終わりに あいさつをします	着席 授業の始まりの時間を守り 席に着きます	持ち物 前日に必要な学習用具を準備します
---	---------------------------------------	---	---	-----------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

学び方スタンダードとは

「学び方スタンダード」とは、確かな学力の向上を図る上で、一之江小学校の全ての児童に必ず身に付けてほしい学習習慣の根幹となるものです。



「あいさつ」から始めよう

- **自分**から
じぶん
- **目**を見て
めみ
- **元気**に
げんき
- **あいさつ**を



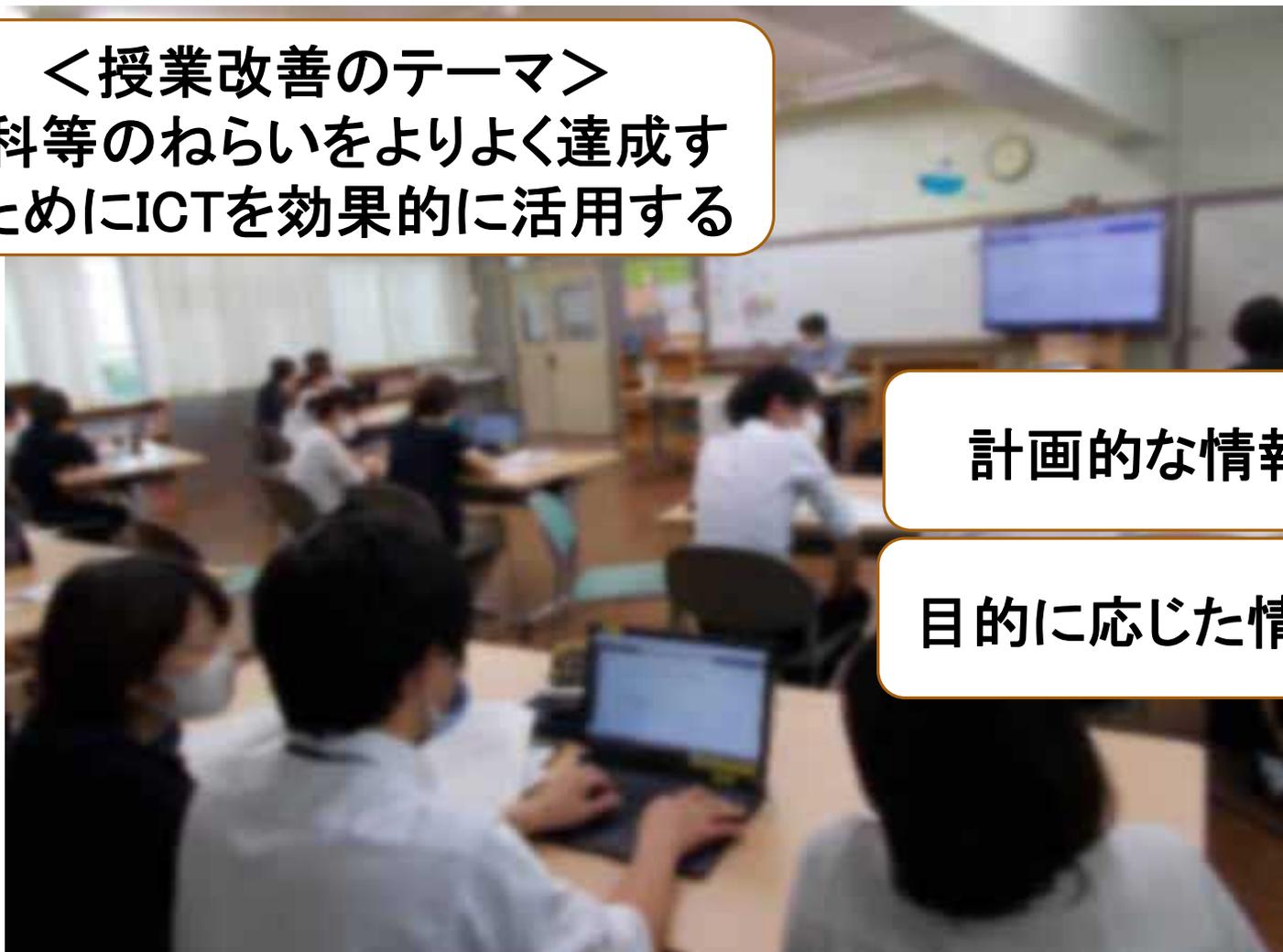
江戸川区立一之江小学校

- ・学校経営案に示す
- ・自己申告に位置付け
⇒継続的な進捗管理

教師の意識化

校内研究とリンク

＜授業改善のテーマ＞
教科等のねらいをよりよく達成するためにICTを効果的に活用する



計画的な情報モラル

目的に応じた情報モラル

教師の意識化

計画的な
情報モラルの指導



道徳の年間指導計画に位置付け



GIGAワークブック東京
SNS東京ノート
の年間指導計画

教師の意識化

授業の中で
目的に応じた情報モラルの指導

生活科「秋を見つけよう」



- ・写真を撮るときの注意
- ・アップするときの注意

教師の意識化

授業公開

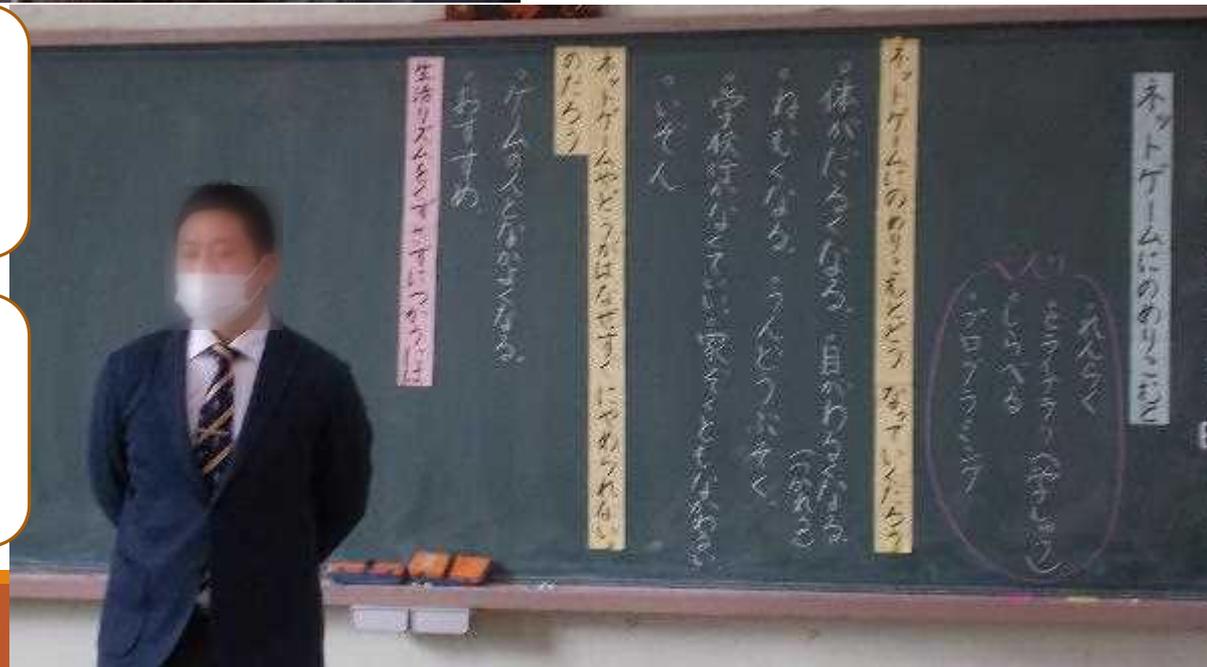


＜教師＞

授業作りを通じた
情報モラルの理解

＜保護者＞

情報モラルについて
一緒に考える機会



教師の意識化



配信スキルの向上

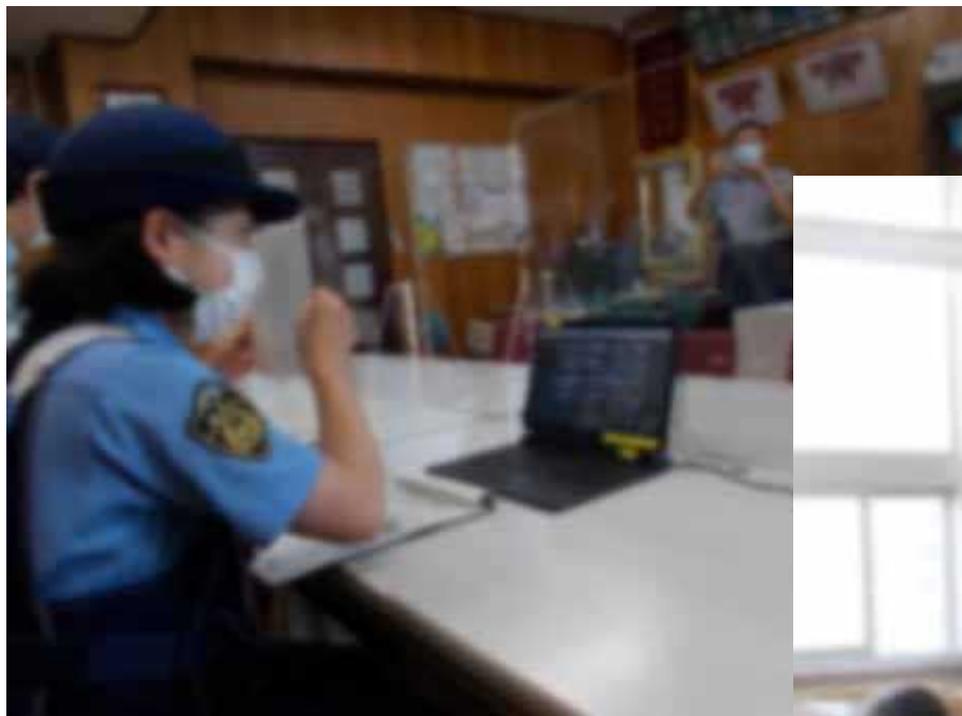
人権上の配慮

オンライン授業配信



教師の意識化

授業スキルの向上



日常使いが指導の基盤



朝会・集会の配信

児童の意識化

基本は日常モラル

朝の挨拶運動



日直は挨拶当番



日頃からの
モラル・マナーの浸透

履き物をそろえる



児童の意識化



活動の中で学ぶ

- ・写真を撮るときの注意
- ・アップするときの注意
- ・インタビューをするときの注意

授業で活用



積極的な活用と
振り返りの実施



児童の意識化



有効な活用の仕方を
身に付ける



情報化社会で生きていく力



理科の実験・結果・考察・まとめ



児童の意識化

有効な活用の仕方を
身に付ける



家庭学習とリンク

児童の意識化

「SNS東京ノート」の活用

「写真を公開する前に」

問題ない

ある



〈気づいたこと〉

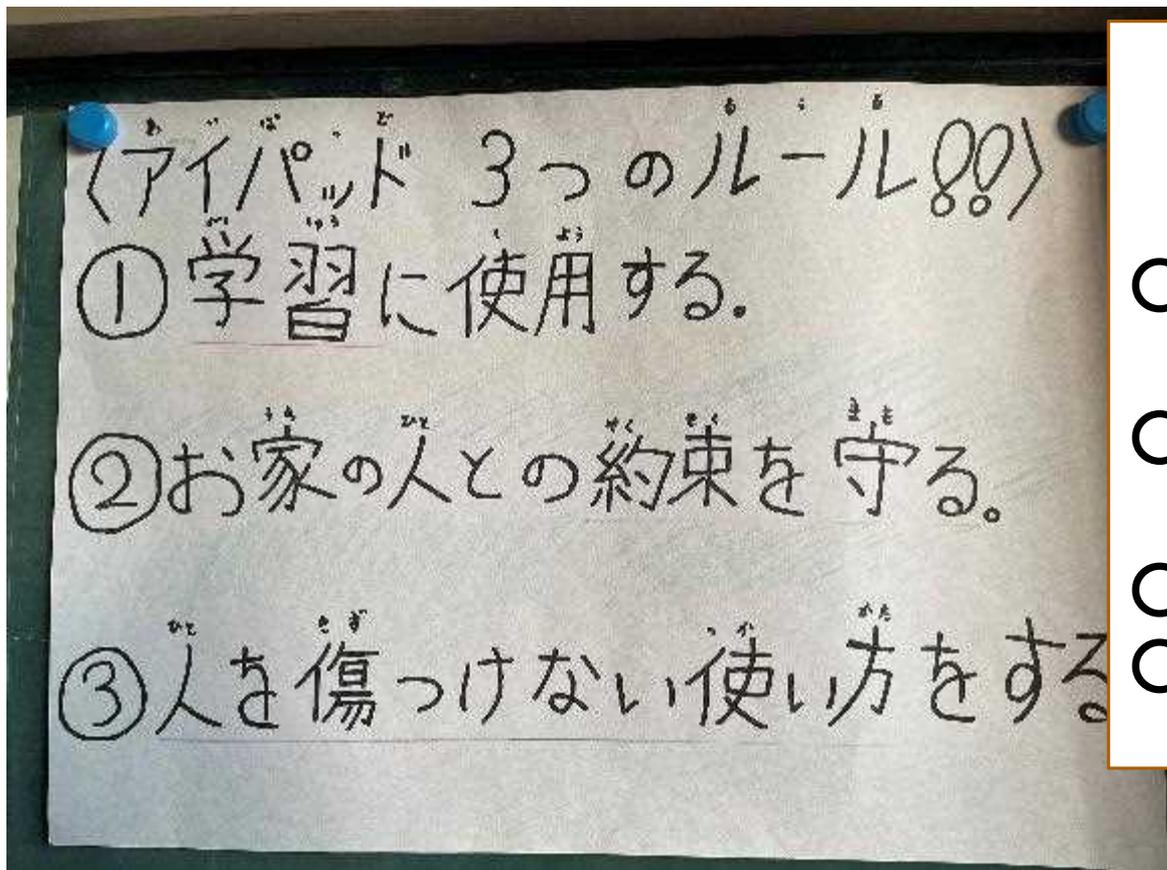
- ・個人情報かわかると
トラブルにつながる
- ・1〜5、顔や住所
情報がある
- ・背景で特定



年間指導計画に基づいた授業の実施

児童の意識化

児童主体の取組



〈児童会の活動〉

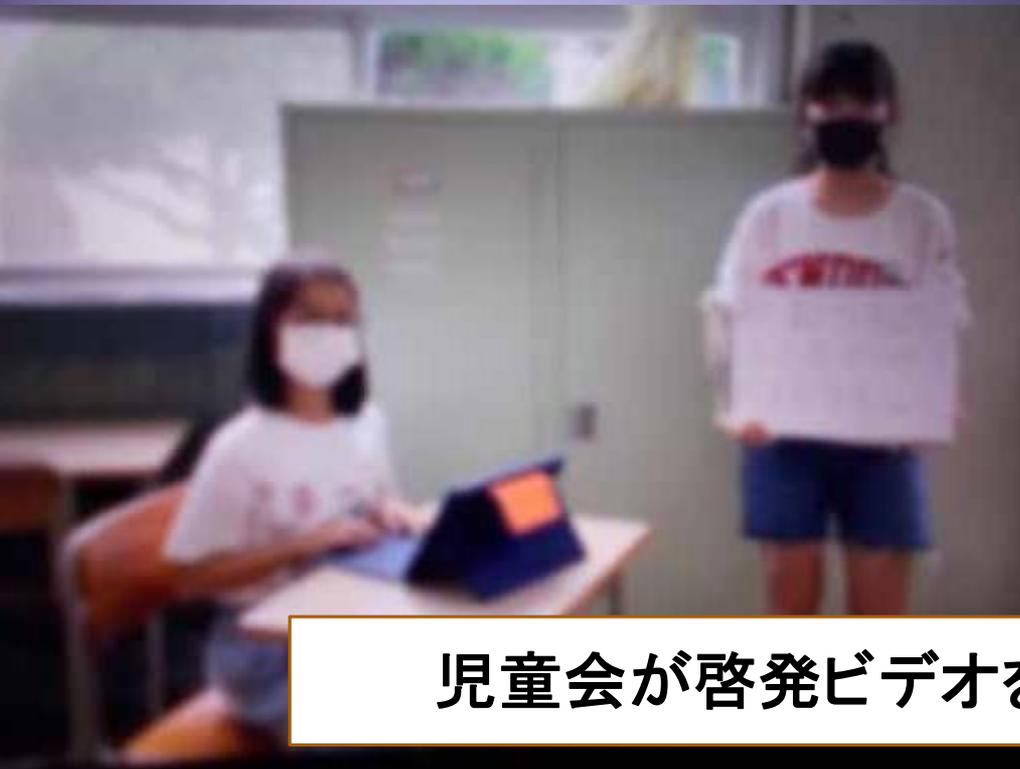
- アンケートの実施
⇒ 各クラスで話し合い
- 児童会で集約
⇒ 学校ルールの作成
- ポスターの作成・掲示
- ビデオの作成・啓発

各教室のポスター

児童会が作成した タブレットの使い方の啓発動画

児童主体の取組み

代表委員会からのお知らせ



児童会が啓発ビデオを作成



家庭との連携

取組に引き込む



オンライン保護者会

<個人面談>

5月 個人面談①
家庭ルール作りの依頼



持ち帰り



11月 個人面談②
家庭ルールの見直し
状況把握、悩み相談

家庭との連携

取組に引き込む

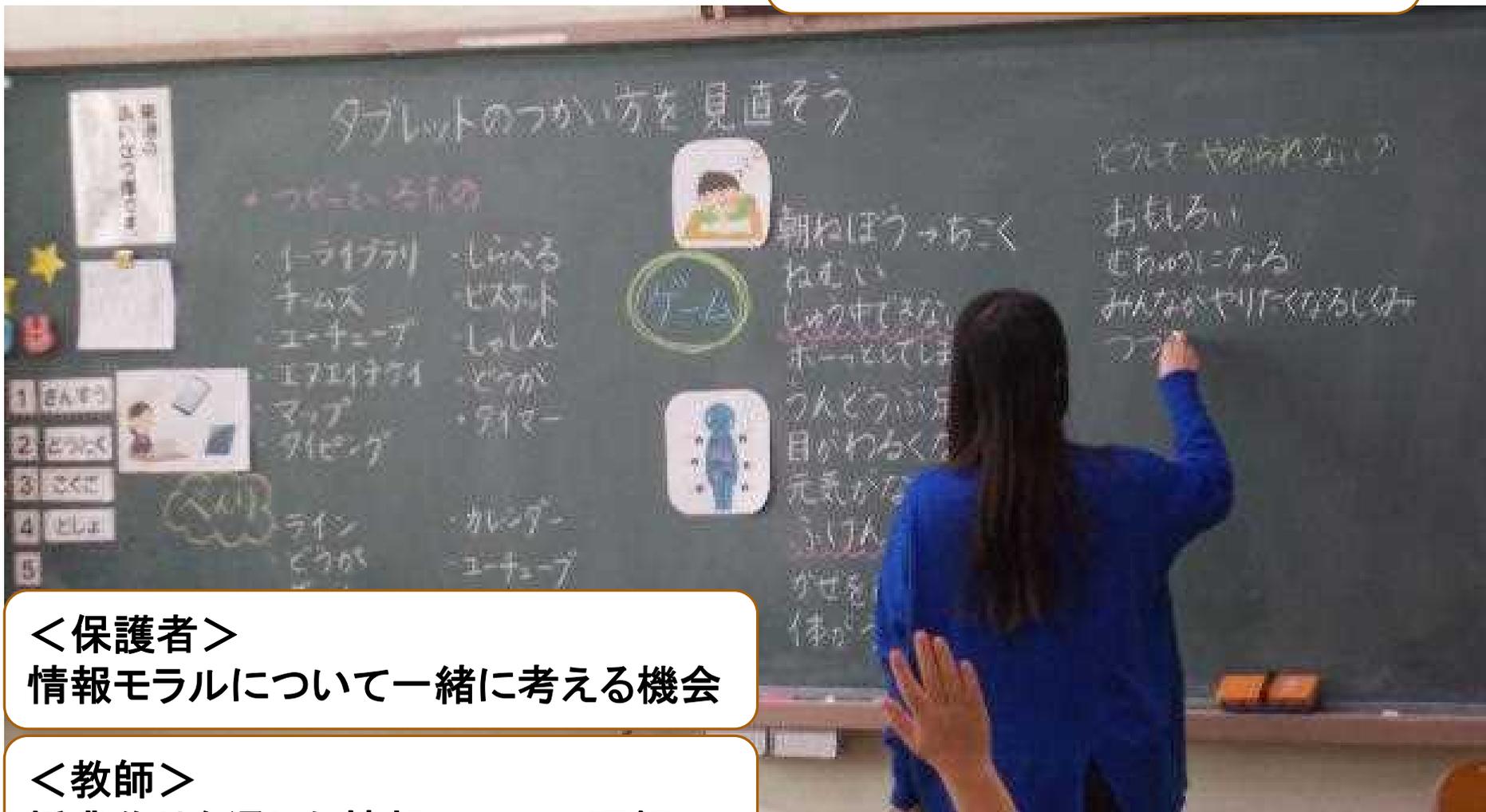


- ・入学式
- ・学校公開
- ・運動会
- ・音楽会
- ・授業配信
- ・学校評価
- ・行事アンケート
- ・個人面談(対面)

オンライン学校公開

家庭との連携

授業公開で
情報モラルの授業を実施



<保護者>

情報モラルについて一緒に考える機会

<教師>

授業作りを通じた情報モラルの理解

家庭との連携

目標設定と振り返り

<自己チェック>

- ・長期休業中のチェック
- ・振り返りチェック

夏休み家庭ルール 高学年用
年 組 名 前

インターネットやネットゲームの約束

家庭生活の約束

お家の人と決めた約束が 守れば○ 守れなかったら△ をつけて毎日お家の人に見てもらおう

日にち	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	日
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
インターネットやネットゲームの約束												
家庭生活の約束												
保護者のサイン												

日にち 2 月

インターネットやネットゲームの約束												
家庭生活の約束												
保護者のサイン												

日にち 14 日

インターネットやネットゲームの約束												
家庭生活の約束												
保護者のサイン												

<家庭ルール>

目標設定

自己チェック

保護者確認

<守る宣言>

宣言作成

自宅に掲示

写真に撮って提出

「SNS家庭ルール」守る宣言

一之江小学校 年 組 名 前

私はタブレットを使うとき次の約束を守ります!

家庭との連携

目標設定と振り返り

自己チェック



自宅に掲示した「守る宣言」を印刷配布し、振り返り

外部との連携

外部講師による授業



LINEさんによる
「SNS東京ノート」を
活用した授業

カードを用いて、自分と他者との受け取り方の違いを
相互に確認し合い認識

外部との連携

講師による保護者向け講演会

まとめ

- ① 「使いすぎ」って、何時間くらいなの？どう指導したらよいの？
→ **他のやるべきことへの影響**, **24時間の記録とタイムマ**
- ② 家庭では「ルール」をつくれれば、それでよいの？
→ スローガンの**曖昧さ**を考えさせる。
- ③ ルールをつくっても本当に守ることができるの？
→ **「破ってしまうとき」**をたくさんあげさせ、工夫を考えさせる
- ④ 「早くやめなさい」という声かけは、本当に効果的ななの？
→ 「振り返りを促す」、「自分で宣言させる」など**「伝え方」**を変えてみる
- ⑤ 「メディアとの上手なつきあい方」をどう教えればよいの？
→ ちょっと立ち止まって**「送り手の意図」**や**「本当かな？」**と考える力

保護者参加型の
アクティビティ



保護者が「SNS東京ノート」のカードを活用体験

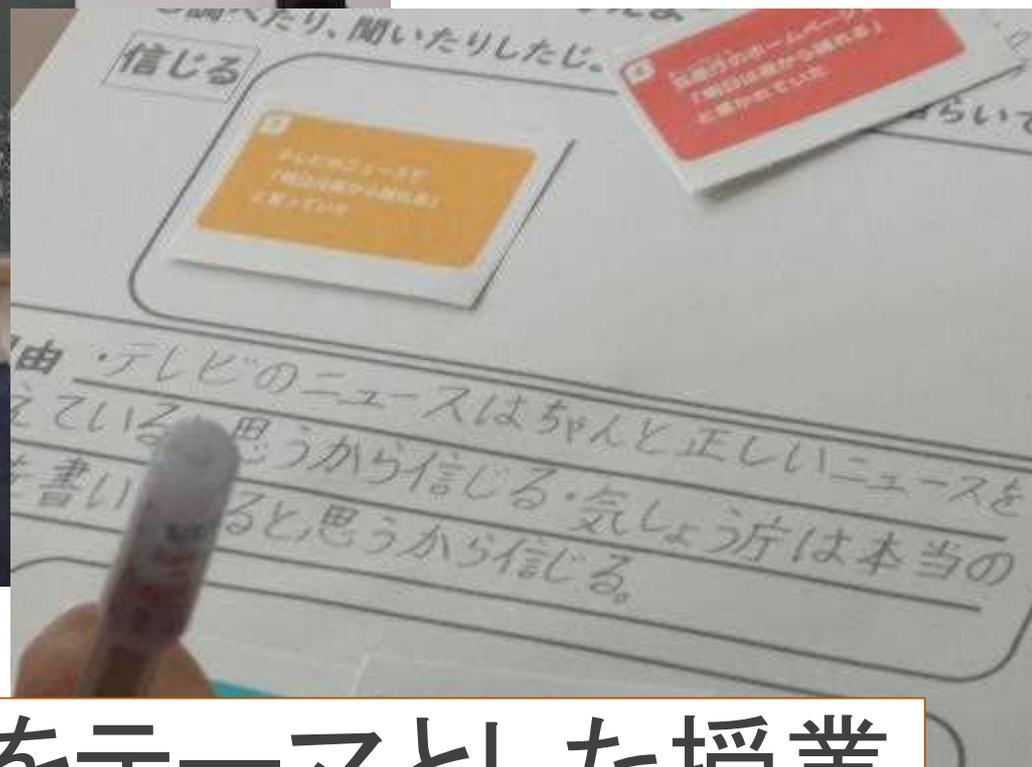


Shizuoka University

外部講師から、保護者に直接メッセージを伝達

時代に即した授業の工夫

ファクトチェック



情報の信頼性をテーマとした授業

時代に即した授業の工夫

フェイクニュース

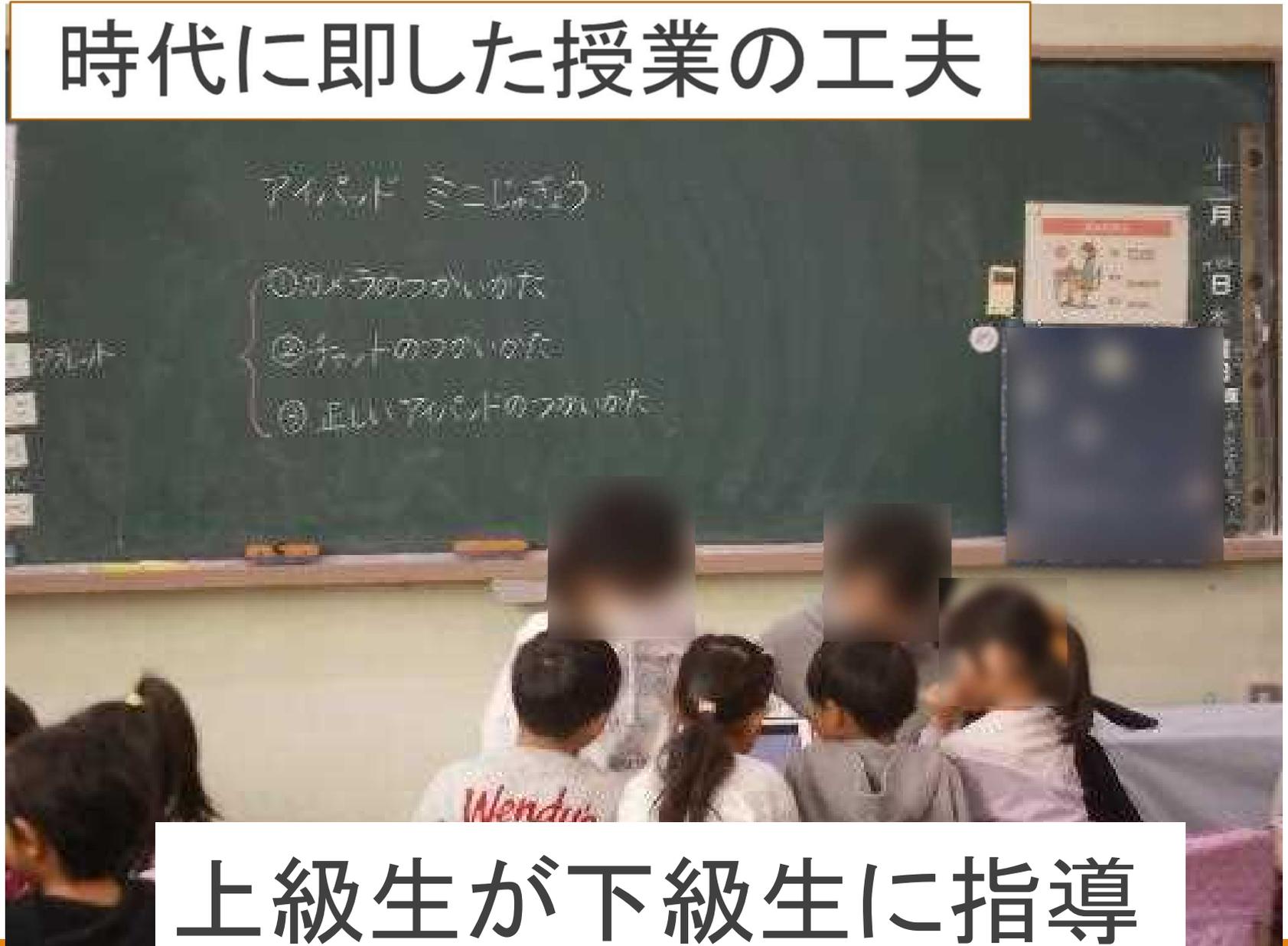
情報の信頼性をテーマとした授業

時代に即した授業の工夫



情報の信頼性をテーマとした授業

時代に即した授業の工夫



上級生が下級生に指導

時代に即した授業の工夫



AIを取り上げた授業

確認と修正

- 未然防止の取組を最大限
- 失敗はすぐに修正
 - ・子供同士のトラブルは
早期発見・早期解決
- 定期的な振り返り
- よりよい取組を全員で考案

あいさつの花の取組

